

社会資本総合整備計画「南武線駅アクセス向上等整備事業（第3期計画）」の概要

【第3期計画の概要】

- ◆JR 南武線武蔵溝ノ口駅以北の片側改札口の5駅について、鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者の安全性・利便性を高めるなど駅アクセス向上に向け、平成22年に策定した「南武線駅アクセス向上方策案」に基づき取組を進めています。
- ◆本計画は、「南武線駅アクセス向上方策案」及び前期計画の事業進捗を踏まえ、国の社会資本整備総合交付金制度を活用し、駅アクセス向上の取組を推進するため、令和4年2月に策定したものです。
- ◆今回、令和8年度が計画の最終年度にあたり、目標の達成状況等の確認や今後の方針検討を行う事後評価に際しての参考とするため、意見をいただくものです。

【整備計画の目標】

次のとおり整備計画の目標を設定しました。

JR 南武線については、渋滞や踏切部の解消・環境改善等に向け、武蔵小杉駅から武蔵溝ノ口駅間の連続立体交差化が完了し、尻手駅から武蔵小杉駅間については、連続立体交差事業の事業実施に向けた関係機関との協議・調整等を進めている。

こうした中、武蔵溝ノ口駅以北の5駅（稲田堤駅、中野島駅、宿河原駅、久地駅、津田山駅）については、片側改札口となっていることから、駅へのアクセス向上が求められている。

このため、関係機関との協議等を踏まえ、鉄道による地域分断の改善や安全性・利便性の向上などの駅アクセス向上に向けた取組を推進する。

【計画事業概要】

計画の期間や事業数・事業費等については次のとおりです。

- 事業期間：令和4年度～令和8年度
 事業数：基幹事業1事業（3箇所）
 事業費：3,162百万円

◆国の交付金を活用する事業

事業名	内容
稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路等整備 橋上駅舎化整備
久地駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路、橋上駅舎化整備
中野島駅周辺地区都市交通システム整備事業	自由通路、橋上駅舎化整備

【成果目標】

事業の実施効果を測る指標として、次の指標を設定しました。

No.	定量的指標	当初現況値(人/日)	最終目標値(人/日)
1	稲田堤駅の踏切歩行者数	28,000	4,000
2	久地駅の踏切歩行者数	9,000	1,000
3	中野島駅の踏切歩行者数	19,000	3,000

【主な事業の位置図】



【指標に対する事業の成果】

※ 事業の成果については、事業完了した稲田堤駅のみ実施し、久地駅、中野島駅については本事業として未着手のため実施していない。

稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業

【実施概要】

事業内容：自由通路、橋上駅舎及び駅前空間整備

完成年度：令和7年度

事業効果：駅へのアクセス性向上



駅舎外観



自由通路利用状況

【交通量調査及びアンケート調査の実施】

■ 調査目的

- ・歩行者の流動変化から工事の効果を把握するために、工事完了後(令和7年度)に交通量調査を実施。
- ・踏切通行者や駅利用者に対して、アンケート調査も併せて実施することで、整備効果や意見を把握

■ 調査項目

- ① 駅周辺の交通量調査
(歩行者、自転車、自動車)
- ② 整備後の効果等を把握するためのアンケート調査

■ 調査日

令和7年10月2日(木)初電～終電

※踏切のみ24時間(4時～翌4時)

■ 調査方法

- ① 交通量調査…目視によるカウント
- ② アンケート調査…二次元バーコードの配布によるWeb回収

(設問項目)

- ・稲田堤駅の利用目的、利用頻度、居住エリア
- ・整備による前後比較(踏切横断頻度、安全性、利便性、横断頻度)



調査実施計画平面図

【交通量調査結果】

◆ 駅前踏切の横断者数は6,375人/24hであった。

◆ 朝ピーク時間帯(7時～9時)の駅前踏切の横断者数は618人であった。

【評価指標の達成状況】

(成果指標) 踏切歩行者数

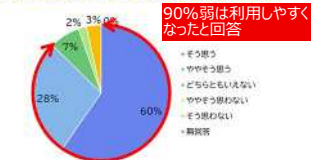
	当初現況値(人/日)	最終目標値(人/日)	調査結果(人/日)
踏切歩行者数	28,000	4,000	6,375

◆ 踏切歩行者数が28,000人から6,375人と約78%減少しており、橋上化の効果があると考えられるが、目標数値である4,000人(約85%減少)は未達成となった。

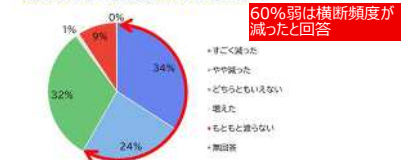
◆ しかし、駅アクセスの安全性・利便性において最も課題となる朝ピーク時において、自由通路完成前に踏切横断していたと考えられる利用者数と完成後の踏切横断者数を比較すると約89%減少しており、大きな効果は発現している。

【アンケート調査結果】

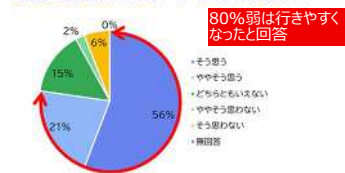
① 稲田堤駅が利用しやすくなりましたか？



② 踏切を渡る頻度は減りましたか？



③ 自由通路ができ、線路の反対側に行きやすくなりましたか？



④ 踏切内の混雑がなくなり、安全に渡れるようになったと思いますか？



◆ 整備効果について、好意的な意見が大半を占める結果となった。

【事業成果に対するまとめ】

◆ 稲田堤駅においては自由通路の完成に伴い踏切横断者が大幅に減少し、朝ピーク時においては約89%減少するとともに、アンケート調査では整備効果に対して好意的な意見が大半を占めたことから、事業効果が発現していると考えられる。

◆ その他の駅(久地駅、中野島駅)については、自由通路及び橋上駅舎化が未着手である。

【今後の方針】

◆ 踏切を横断する駅利用者の安全性・利便性の確保、鉄道による地域分断の改善など、駅アクセスの向上に向け、引き続き駅アクセス向上等整備事業の計画を継続し、事業化に向けた取組の推進を図り、事業効果の早期発現を目指します。

令和 8 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	まちづくり局交通政策室	要素事業所管課	まちづくり局交通政策室
----------	-------------	---------	-------------

1 計画の概要

計画の名称	南武線駅アクセス向上等整備事業	計画の期間	令和 4 年度～ 令和 8 年度
計画の目標	JR 南武線について、渋滞や踏切部の解消・環境改善等に向け、武蔵小杉駅から武蔵溝ノ口駅間の連続立体化が完了し、尻手駅から武蔵小杉駅間については、連続立体交差事業の事業実施に向けた関係機関との協議・調査等を進めている。こうした中、武蔵溝ノ口駅以北の 5 駅（稲田堤駅、中野島駅、宿河原駅、久地駅、津田山駅）については、片側改札口となっていることから、駅へのアクセス向上が求められている。このため、関係機関との協議等を踏まえ、鉄道による地域分断の改善や安全性・利便性の向上など駅へのアクセス向上に向けた取組を推進する。		
計画の成果目標（定量的指標）	① 稲田堤駅の改札口に近接する踏切の歩行者約 28,000 人／日を約 4,000 人／日に削減 ② 久地駅の改札口に近接する踏切の歩行者約 9,000 人／日を約 1,000 人／日に削減 ③ 中野島駅の改札口に近接する踏切の歩行者約 19,000 人／日を約 3,000 人／日に削減		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	・計画期間の延伸等（稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業の完了時期延伸のため） ・工事計画等の変更に伴う工事費等の増		

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況（概要）

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	稲田堤駅周辺地区都市交通システム整備事業	2,706,000	2,892,000	2,892,000	100	完成
	久地駅周辺地区都市交通システム整備事業	135,000	135,000			次期計画へ移行
	中野島駅周辺地区都市交通システム整備事業	135,000	135,000			次期計画へ移行
B (関連社会資本整備事業)						
C (効果促進事業)						
全体事業費 (A + B + C)		2,976,000	3,162,000	2,892,000 【財源内訳】 国：964,000 市：1,928,000		

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	踏切歩行者数			
定義及び算定式	改札口に近接している踏切の歩行者数			
その指標を設定した理由	自由通路及び橋上駅舎化の整備がされることにより、踏切両側から駅へアクセスできるようになり、改札口に近接する踏切の歩行者数が減少するため。			
当初現況値 (R2)	中間目標値	最終目標値 (R7)	実績値 (確定・見込)	目標達成状況
① 約 28,000 人 ② 約 9,000 人 ③ 約 19,000 人	—	① 約 4,000 人 ② 約 1,000 人 ③ 約 3,000 人	① 約 6,500 人 ② 約 9,000 人 ③ 約 19,000 人	① 未達成 ② 未完成 ③ 未完成
目標達成状況に対する所見	稲田堤駅については、自由通路等の完成に伴い、踏切横断者数が約 78%と大幅に減少しており、朝ピーク時には約 89%減少しております。また、自由通路利用者へのアンケート調査においては、整備効果に対して好意的な意見が大半を占めており、これらの結果より、目標は未達成ではありますが、歩行者の安全性・利便性の向上が図られており、事業効果は発現されたものと考えております。その他の駅については、自由通路及び橋上駅舎化が未完成のため、事業効果が発現されていません。			
将来の見込み	自由通路及び橋上駅舎等整備により目標値を達成するものと見込んでおります。			

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	なし
定義及び算定式	
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	・意見募集 内容：市のホームページに事業目的、事業概要、事後結果を掲載し、市民から意見を募集。また、区役所等に冊子、意見書(紙)を設置。 手法：意見書の持参及び郵送、FAX、メール、二次元コードにより募集 実施期間：8月5日～9月4日
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	

6 今後の方針等

総合的な所見	・指標の達成度 自由通路等が完成した稲田堤駅については、踏切横断者数が減少するとともに、事業効果に対する好意的な意見が多いことから、事業効果が発現されていると考えます。 その他の駅については、自由通路及び橋上駅舎化が未完成のため、事業効果が発現されておりません。
今後の方針 次期計画 あり・なし	地域分断の改善、踏切を横断する駅利用者の安全性・利便性の確保、駅アクセス向上は喫緊の課題となっており、引き続き、駅アクセス向上等整備事業の計画を継続し、工事や事業化に向けた取組の推進を図り、事業効果の早期発現を目指します。

社会資本整備総合交付金を充てた全要素事業の進捗状況

交付対象事業													
A 基幹事業													
番号	事業名	事業箇所名	事業年度	当初計画		評価時計画			当初計画から の変更概要 (事業の削除・ 追加を含む)	資料(図面)	評価時の完成状況		
				事業費 (百万円)	事業内容 (延長・面積・箇所数等)	執行額 (百万円) ----- 事業費 (百万円)	進捗率	事業内容 (延長・面積・箇所数等)			完成	完成 見込み	次期計画 へ移行
1	稲田堤駅周辺地区 都市交通システム 整備事業	稲田堤駅周 辺地区	令和4年度 ～ 令和7年度	2706	自由通路等、橋上駅舎 化整備	2892 ----- 2892	100.0%	自由通路等、橋上駅舎化 整備	工事計画等 の変更に伴う 工事費等の増		○		
2	久地駅周辺地区都 市交通システム整 備事業	久地駅周辺 地区	令和4年度 ～ 令和8年度	135	自由通路等、橋上駅舎 化整備	----- 135	0.0%	自由通路等、橋上駅舎化 整備					○
3	中野島駅周辺地区 都市交通システム 整備事業	中野島駅周 辺地区	令和4年度 ～ 令和8年度	135	自由通路等、橋上駅舎 化整備	----- 135	0.0%	自由通路等、橋上駅舎化 整備					○
						----- -----	-						
						----- -----	-						
事業費 計				2976		2892 ----- 3162	91.5%						